

ノッティングヒルの恋人(1999)

<あらすじ>

バツイチの冴えない男ウィリアムは、ロンドン西部のノッティング・ヒルで旅行書専門の書店を営んでいる。ハリウッドのスター女優、アナが訪れる。本を買ったアナは微笑んで店を去るが、そのすぐ後に飲み物を買ったウィリアムと街角で衝突、アナの服がオレンジジュースで汚れてしまう。うろたえたウィリアムは近くの自分のアパートに行って服を乾かすが、アナは不器用ながらも誠実さをウィリアムに感じる。

半年後、女優として成功する以前のヌード写真をスキャンダルされて落胆したアナはウィリアムの家を訪れ、甘い週末を過ごす。ところが友人スパイクの一言でマスコミが押し掛け、アナは去る。

1年後に撮影でロンドンを訪れたアナは一人の女性として愛を告白。ウィリアムは身分が違いすぎると別れを告げる。みんな慰める中でスパイクだけが「お前はなんて馬鹿な男なんだ」と発破をかける。意を決したウィリアムは、アメリカに戻るアナを追って街中を駆け回り、再び奇跡を起こす。

<スタッフ>

監督：ロジャー・ミッシェル

- ・ノッティングヒルの恋人 Notting Hill (1999年)
- ・チェンジング・レーン Changing Lanes (2002年)
- ・パッション The Mother (2003年)
- ・Jの悲劇 Enduring Love (2004年)
- ・ヴィーナス Venus (2006年)
- ・恋とニュースのつくり方 Morning Glory (2010年)
- ・私が愛した大統領 Hyde Park on Hudson (2012年)

脚本：リチャード・カーティス

- ・Mr.ビーン Mr. Bean (1989年 -) テレビシリーズ 脚本
- ・フォー・ウェディング Four Weddings and a Funeral (1994年) 脚本
- ・ブリジット・ジョーンズの日記 Bridget Jones's Diary (2001年) 脚本
- ・ラブ・アクチュアリー Love Actually (2003年) 兼 脚本
- ・ブリジット・ジョーンズの日記 きれそうなわたしの12か月 (2004年)
- ・戦火の馬 War Horse (2011年) 脚本

音楽：トレヴァー・ジョーンズ

- ・バンデット Q Time Bandits (1981年)
- ・ミシシッピー・バーニング Mississippi Burning (1988年)
- ・シー・オブ・ラブ Sea of Love (1989年)

<キャスト>

ウィリアム・タッカー：ヒュー・グラント

- ・モーリス(1987)
- ・ケン・ラッセルの白蛇伝説(1988)
- ・日の名残り(1993)
- ・パディントン2(2017)

アナ・スコット：ジュリア・ロバーツ

- ・ミスティック・ピザ(1988)
- ・マグノリアの花たち(1989)

- ・プリティ・ウーマン(1990)
- ・エリン・ブロコビッチ(2000)
- スパイク：リス・エヴァンス
- ・ SHIPPING・ニュース(2001)
- ・ハンニバル・ライジング(2007)
- ・ハリー・ポッターと死の秘宝 PART1(2010)
- ・アメイジング・スパイダーマン(2012)
- ・スノーデン(2016)

ハニー（ウィリアムの妹）：エマ・チャンバース

2018年02月26日ラブコメディ『ノッティングヒルの恋人』に、ハニー役で出演した女優エマ・チャンバースが53歳で死去し、ヒューがかつての共演者に追悼の意を表した。エマのエージェントが声明を発表し、エマが自然死だったことを伝えたとのことだ。

「ノッティングヒルの恋人」の主題歌「She」。

この曲のオリジナルは、「She（原曲の邦題：忘れじの面影）」。フランスのシンガーソングライター、シャルル・アズナヴールが1974年に発表したもの（作曲も本人）。彼の歌は、仏、英、伊、独の4ヶ国語でリリースされています。

1999年にエルヴィス・コストロがカバーを発表し、主題歌に採用され世界的に大ヒットした。

She may be the face I can't forget
 The trace of pleasure or regret
 Maybe my treasure or the price I have to pay
 She may be the song that summer sings
 Maybe the chill that autumn brings
 Maybe a hundred different things
 Within the measure of a day
 She may be the beauty or the beast
 Maybe the famine or the feast
 May turn each day into a Heaven or a Hell
 She may be the mirror of my dreams
 A smile reflected in a stream
 She may not be what she may seem
 Inside her shell
 She who always seems so happy in a crowd
 Whose eyes can be so private and so proud
 No one's allowed to see them when they cry
 She may be the love that cannot hope to last
 May come to me from shadows of the past
 That I'll remember till the day I die
 She
 May be the reason I survive
 The why and wherefore I'm alive
 The one I'll care for through the rough and rainy years
 Me I'll take her laughter and her tears
 And make them all my souvenirs
 For where she goes I've got to be
 The meaning of my life is
 She, she, she

彼女は 忘れられない面影
 喜び あるいは 後悔の痕跡
 彼女は僕の 宝物 あるいは 犠牲
 彼女は夏が歌いかける歌
 秋がもたらす寒気
 たった1日の内に
 100の違う姿を見せる彼女は美女か それとも野獣か
 飢餓か それとも饗宴か
 ある一日を 天国にも地獄にも変える
 彼女は僕の夢の鏡
 水面に映る笑顔
 けれど孤独な殻の中にはきっと
 見た目とは違う姿を隠している人混みの中
 いつだって幸せそうな彼女
 きっとその目は私的で誇り高く
 泣く様を見るのは 誰にも許されない
 彼女は永遠を望めない愛
 過去の影から顔を出し
 僕は死ぬまで彼女を忘れない彼女は僕が生き延びる理由
 僕の生き様であり 生き甲斐であり
 険しい雨模様の歳月を凌ぎ
 思い続けたい相手
 僕は彼女の笑い声も
 彼女の涙も 受け止めて
 記念品として大事にとっておく
 彼女の行く所へ 着いていきたい
 僕の人生の意味 それは
 彼女